

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和7年4月9日(2025.4.9)

【公開番号】特開2023-149207(P2023-149207A)
【公開日】令和5年10月13日(2023.10.13)
【年通号数】公開公報(特許)2023-193
【出願番号】特願2022-57646(P2022-57646)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月31日(2025.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記目的を達成するために、以下に示すような、遊技を実行可能な遊技機が提供される。
遊技機は、遊技者に付与された遊技価値又は遊技者に付与されることが決定された遊技価値と、使用された遊技価値との差に基づく計数値を計数する計数手段と、計数値に基づく所定条件の成立によって所定フラグを設定して遊技を実行できない遊技不可状態を発生する遊技停止手段と、複数の発光部から構成される遊技情報表示部に遊技に関する遊技情報を発光と消灯の組合せにより表示可能な遊技情報表示制御手段と、遊技情報に対応して演出表示可能な演出表示装置と、遊技不可状態ではない状態で所定条件を満たした場合に客待ち表示を演出表示装置に表示可能な演出表示制御手段と、遊技に対応して演出動作可能な可動部材と、演出動作を制御可能な演出動作制御手段と、を備える。フラグは、当該遊技機の電源投入時に初期化されず、計数値は、電源投入時に初期化され、遊技停止手段は、遊技不可状態の発生を抑止する抑止状態を発生可能であり、演出表示制御手段は、遊技不可状態の発生前に計数値が所定範囲にある場合に、遊技不可状態の発生を予告する予告表示を演出表示装置に表示可能であり、客待ち表示を表示中にも予告表示を演出表示装置に表示可能であり、遊技情報表示制御手段は、遊技不可状態で複数の発光部を全消灯し、演出動作制御手段は、遊技不可状態の発生後に可動部材が初期位置以外の動作位置に位置している場合、可動部材を動作位置から初期位置に戻す。

30

【手続補正2】

40

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を実行可能な遊技機において、
遊技者に付与された遊技価値又は遊技者に付与されることが決定された遊技価値と、使用された遊技価値との差に基づく計数値を計数する計数手段と、
前記計数値に基づく所定条件の成立によって所定フラグを設定して前記遊技を実行できな

50

い遊技不可状態を発生する遊技停止手段と、
複数の発光部から構成される遊技情報表示部に前記遊技に関する遊技情報を発光と消灯の
組合せにより表示可能な遊技情報表示制御手段と、
前記遊技情報に対応して演出表示可能な演出表示装置と、
前記遊技不可状態ではない状態で所定条件を満たした場合に客待ち表示を前記演出表示装
置に表示可能な演出表示制御手段と、
前記遊技に対応して演出動作可能な可動部材と、
前記演出動作を制御可能な演出動作制御手段と、を備え、
前記フラグは、当該遊技機の電源投入時に初期化されず、
前記計数値は、前記電源投入時に初期化され、
前記遊技停止手段は、前記遊技不可状態の発生を抑止する抑止状態を発生可能であり、
前記演出表示制御手段は、
前記遊技不可状態の発生前に前記計数値が所定範囲にある場合に、前記遊技不可状態の発
生を予告する予告表示を前記演出表示装置に表示可能であり、
前記客待ち表示を表示中にも前記予告表示を前記演出表示装置に表示可能であり、
前記遊技情報表示制御手段は、前記遊技不可状態で前記複数の発光部を全消灯し、
前記演出動作制御手段は、前記遊技不可状態の発生後に前記可動部材が初期位置以外の動
作位置に位置している場合、前記可動部材を前記動作位置から前記初期位置に戻す、
遊技機。

10

20

30

40

50